

令和6年度研究成果に関する外部有識者意見聴取の結果について

令和7年（2025年）4月1日
山口県農林総合技術センター

1 目的

研究成果の公表にあたり、現場での活用可能性、新規性、フォローアップや確認試験の必要性について外部有識者から幅広い視点や専門的な観点から意見を聴き、意見を踏まえた対応方向等今後の研究開発に活かす。

2 対象課題

令和6年度にセンター内部の完了評価を受けた単県研究課題

3 外部有識者の選定

1課題4名の外部有識者を次の①～④の区分から1名ずつ選定し、別添の調査票により令和7年3月に意見を聴取した。

①学 識 経 験 者：国立大学法人 山口大学 農学部、共同獣医学部

②他 の 研 究 機 関：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター、
国立研究開発法人森林研究整備機構森林総合研究所 林業研究部門、関西支所

③農 業 関 係 団 体：山口県農業協同組合、(公社)山口県畜産振興協会、山口県森林組合連合会

④消 費 者 団 体：山口県地域消費者団体連絡協議会

4 結果

No.	課題名	総合評価※2	評価内訳※1 (人)		
			A	B	C
R06-01	高品質な酒米の安定生産、供給を可能とするデータクラウドシステムの構築	一定の成果が得られた	2	2	0
R06-02	スマート農業技術を活用した水稻有機栽培技術の確立	一定の成果が得られた	0	4	0
R06-03	根こぶ病抵抗性品種「CR はなっこりー」の育成	十分な成果が得られた	3	1	0
R06-04	ダイズ褐色輪紋病の防除体系の確立	十分な成果が得られた	3	1	0
R06-05	自動化・無人化技術を活用した林業技術体系の構築	一定の成果が得られた	0	4	0
R06-06	新たな品種等の導入による低コスト再造林技術の確立	一定の成果が得られた	2	2	0
R02-07	長州「黒かしわ」の香りと風味に関する研究	成果が得られなかった	1	0	3
R06-08	需要に即した飼料自給率の高い黒毛和種肉用牛生産技術の開発	一定の成果が得られた	1	3	0

※1 評価基準

A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。

B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能。

C：追試や確認試験が不可欠・現場で活用可能性が低い。

※2 総合評価

Aが過半数の場合：十分な成果が得られた。

AとBを合計が過半数：一定の成果が得られた。

上 記 以 外：成果が得られなかった。

※3 その他寄せられた主な意見等は別紙参照

(別添)

令和6年度研究成果に関する外部有識者への意見聴取 質問・意見等記入票

記入日：令和7年 3月 日

所 属：

氏 名：

課題番号	
課題名	

1 以下の質問事項についてあてはまる評価の□にチェックを入れてください。

評 価 内 容	評 価		
	A	B	C
	可能性 は高い	普及支援 により活 用が可能	可能性 は低い
この研究成果は実用技術としての活用可能性は高いと思いますか	☐	☐	☐

評価基準

A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。

B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能

C：追試や確認試験が不可欠、現場で活用可能性が低い。

2 その他、この課題に対して御意見があれば記載してください。

--